

江戸川河口だより

『出張所だより』は江戸川河川事務所のホームページ
(<http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa>) に掲載しています

国土交通省関東地方整備局
江戸川河川事務所
江戸川河口出張所発行
電話 03-3679-1460
2009年08月27日【号外4号】

根本排水機場は台風などの出水時に活躍しています
市川市内の真間川など川沿いの浸水被害を軽減しています



根本排水機場全景

根本排水機場は、江戸川の主要な支流である真間川と江戸川との合流点に位置しています。

排水機場の周辺には、市川市の市街地が形成され低地のため、古くより浸水被害をこうむってきました。

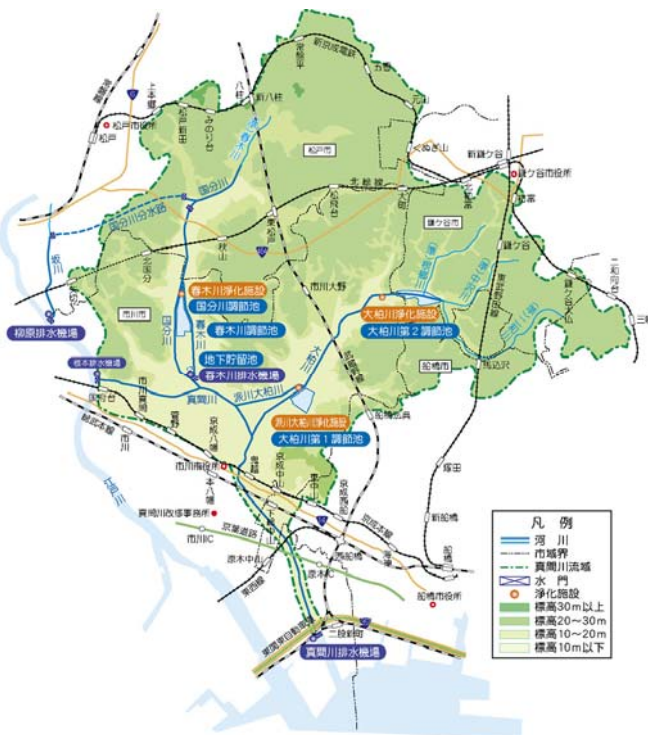
この排水機場は、これらの被害を軽減するため、昭和53年3月に建設され、台風などで増水した時に江戸川の洪水の逆流を防止するとともに、真間川の洪水を江戸川へ強制的にポンプで排水しています。毎年、数回ポンプを運転しています。

根本排水機場付近写真



根本排水機場の概要を紹介します

真間川流域図



真間川は、江戸川の主要な支川の一つで、松戸市、鎌ヶ谷市、船橋市の各市域の水を集め、市川市で江戸川と東京湾に注いでいます。

下総台地に水源を発し、国分川は市川市須和田1丁目付近で、大柏川は市川市北方2丁目付近で真間川に合流し、流域面積 **65.6 km²** 流域人口約 **44万人** となっています。

主要な河川の指定延長は、真間川 **8.5km**、国分川 **5.6km**、大柏川 **6.0km** となっています。

この流域の下流部分は、市川市の市街地で低地のため、古くから浸水被害をこうむってきました。

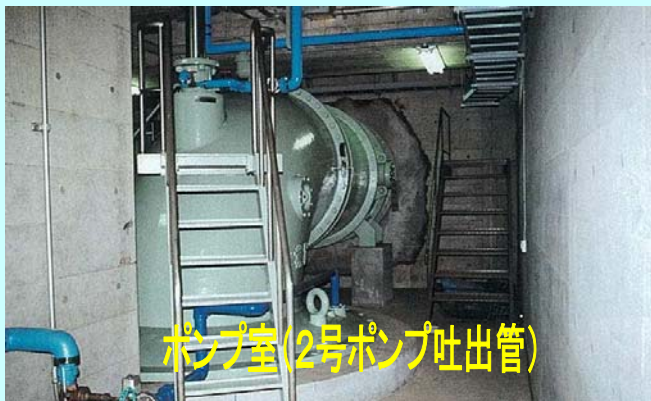
特に、昭和33年9月の台風22号による浸水被害は甚大でありました。このため昭和34年から千葉県で真間川の改修工事に着手し、調節池や国分川分水路などが整備されてきました。

建設省（現国土交通省）では、昭和41年度に自然排水樋管（巾3.5m 高4.5m 2連）を改築するとともに、昭和50年10月から根本排水機場（排水量 **15 m³/S**）を新設する工事に着手し、昭和53年3月工費約 **10億5千万円** で完成しました。

真間川について詳しく知りたい方は、千葉県真間川改修事務所のホームページをご覧ください。アドレスは、下記のとおりです。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/doboku/32magawa/>

（真間川流域図は、千葉県から提供）



2つのポンプで水を排水します



真間川の水を江戸川へ流す出口です

